

感染症情報 12月16日～22日

府下小児科196医療機関(堺市19)から

①感染性胃腸炎	991例(堺市	95例)
②溶連菌感染症	350例(堺市	50例)
③RSウイルス感染症	189例(堺市	7例)
④手足口病	111例(堺市	19例)
⑤咽頭結膜熱	72例(堺市	12例)

府下305医療機関(堺市29)から

インフルエンザ 13,953例(堺市 1,545例)

報告数による順位。前週比4.9%減の1,862件であった。感染性胃腸炎が府下で前週から3%減、堺市で前週123例→今回95例。溶連菌感染症が府下で5%減、堺市で前週43例→今回50例。RSウイルス感染症が府下で9%増、堺市で前回・今回とも7例。手足口病が府下で29%減、堺市で前週22例→今回19例。咽頭結膜熱が府下で10%減、堺市で前週4例→今回12例。

基幹定点だけが報告するマイコプラズマ肺炎は、大阪府で34例→29例で15%減。堺市で4例→4例であった。

インフルエンザが府下で前週6,599例→今回13,953例は111%増。堺市で前週663例→今回1,545例は133%増。定点当たり大阪府は45.75、堺市は53.28とともに警報レベルに入った。大阪府ではAH1pdm(いわゆる新型)が優位とある。

府下305医療機関(堺市29)から

新型コロナウイルス感染症 874例(堺市 101例)
大阪府定点 2.87 堺市定点 3.48

大阪府の年齢層別の報告数											
0歳	1歳から4歳	5歳から9歳	10歳から19歳	20歳から29歳	30歳から39歳	40歳から49歳	50歳から59歳	60歳から69歳	70歳から79歳	80歳以上	合計
27	60	44	88	102	77	78	107	82	93	116	874

新型コロナウイルス感染症の定点報告は、大阪府で前回542例→今回874例で61%増、定点当たり1.78→2.87。堺市で前週44例→今回101例で約2.3倍、定点当たり1.52→3.48でまた府下でワーストとなった。

麻疹や風疹の報告はなかった。